「当たり前」を見直すために 知っておいてほしいキーワード・・・・・・・・・・ 2

【ジェンダー・ギャップ指数（GGI）】

（指数：しすう　GGI：ジージーアイ）

各国における男女格差を測る指数
「経済」「政治」分野が低く、153カ国中 121位（2019年発表）

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の前会長の女性蔑視ともいえる発言は、日本はもとより諸外国でも大きく報道されました。そこでは、「日本ではジェンダー平等が進んでいない国」として、各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数（Gender Gap Index：GGI）が 153 カ国中 121 位であることを紹介する記事も見られました。

ジェンダー・ギャップ指数（GGI）とは、世界経済フォーラムが毎年発表するものです。「経済」「政治」「教育」「健康」の４つの分野のデータから作成され、スコアが 1 に近づくほど平等に近いことを示しています。2019 年の順位は前述の通りですが、2018年は149カ国中110位でした。順位の変化を見ると、日本のジェンダー平等は後退しているかの印象を受けます。諸外国に比べて改革のスピードが遅いことが、この数字に表れているといえるでしょう。

右ページの表を見ると、「健康」は上位、「教育」は中位程度のポジションながら、「経済」そして「政治」分野が低く、全体の順位を大きく下げていることが分かります。「政治」分野が変わらなければ、他国に後れを取る一方になるのではないでしょうか。

日本は経済的にも技術的にも発展した国ですが、男女共同参画に関する指数では先進国の中で最下位クラスになっています。この指標のこの順位、皆でなんとかしたいと思いませんか。

※ジェンダー：男性と女性の生物学的、生理的性差（セックス）とは別に、社会的文化的に作られてきた性差を指す言葉

世界の中での日本を見ると…

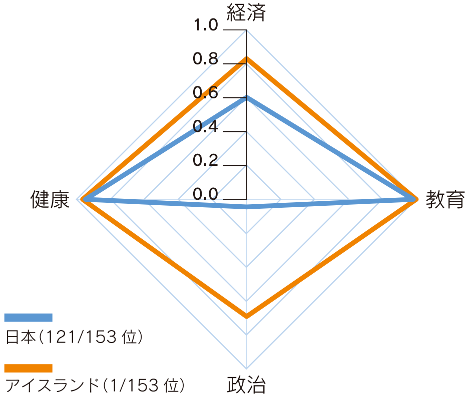
内閣府男女共同参画局HP（共同参画令和2年3･4月号）から

●日本の各分野のスコアと順位

スコアは、0が完全不平等、1が完全平等

分野	スコア（順位）	昨年のスコア（順位）
経済	0.598（115 位）	0.595（117 位）
政治	0.049（144 位）	0.081（125 位）
教育	0.983（ 91 位）	0.994（ 65 位）
健康	0.979（ 40 位）	0.979（ 41 位）

●GGI（2020）各分野の比較



●GGI（2020）上位国及び主な国の順位

順位	国名	スコア
1	アイスランド	0.877
2	ノルウェー	0.842
3	フィンランド	0.832
4	スウェーデン	0.820
5	ニカラグア	0.804
6	ニュージーランド	0.799
7	アイルランド	0.798
8	スペイン	0.795
9	ルワンダ	0.791
10	ドイツ	0.787
15	フランス	0.781
19	カナダ	0.772
21	英　国	0.767
53	米　国	0.724
76	イタリア	0.707
81	ロシア	0.706
106	中　国	0.676
108	韓　国	0.672
121	日　本	0.652

（Global Gender Gap Report 2020）